



西川 和男
公明党

新規事業の取り組みについて

●西川和男議員
平成28年度の新規事業として、認知症施策の推進が新たに加わった。認知症に対する不安や悲観を払拭するためにも、認知症の人も介護者も地域の方々が希望を見出して前に進めるんだというメッセージを発信し、認知症の方々が地域で生き生きと暮らす風景が市民に見える、そのような認知症施策をお願いしたいと考える。

そこで、新規事業として予定されている認知症の人への早期発見と早期支援のための認知症初期集中支援チームの仕組みや具体的な取り組みについて、さらに本市の認知症の方の現状と認知症の偏見の解消と理解に向けての取り組みについて伺う。

◎健康福祉部長

昨年12月より、医師、精神保健福祉士などの専門職による認知症初期集中支援チームを編成し、モデル事業として活動を開始した。認知症やその疑いのある方を対象として、個々の症状に合わせて、継続的な生活指導などの支援を行うとともに、医療・介護サービ

スや高齢者あんしん相談センターと連携を図り、在宅で自立した生活ができるようサポートを行うものである。

また、認知症の方への偏見の解消と正しい理解についても、認知症ガイドブックにより、広く普及啓発していく。今後、認知症の早期診断・早期対応や、地域支援推進員による相談対応などにより、本人の意思が尊重され、できる限り住みなれた地域で暮らし続けることができる志木市の実現に取り組んでいく。



認知症について解説したパンフレット

その他の質問項目

- 地域課題について
- にぎわい創出について
- 教育施策について



吉川 義郎
公明党

道路整備について

●吉川義郎議員
昨年6月の一般質問において、市長に次の質問をした。「ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全大会のコースになった志木大橋から富士見橋間の柳瀬川沿いの土手道について、でこぼこ道をアスファルト舗装などにするべきと思う。志木大橋から新座方向の柳瀬川沿いの砂利舗装についても、大変歩きづらく、整備してほしいとの多くの要望がある。整備をお願いしたい。」と質問したところ、「支障となる大きな石の撤去などについては、早急に対応を講じていただくよう要望するとともに、堤防天端の整備も、朝霞県土整備事務所にはっきりと働きかけをしていく。」との答弁があった。

そこで、これらの整備計画と進捗状況について伺う。

◎都市整備部長

柳瀬川の堤防上通路については、昨年6月に河川管理者である朝霞県土整備事務所に改善について要望したところであり、富士見橋から志木大橋上流の新座市境までの間の堤防上通路の改

善工事を3月下旬から実施するとの報告をいただいた。堤防上の大きな石の撤去や凹凸をならす作業を行い、碎石舗装を行うとのことである。

なお、ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全大会が5月15日に決定をしていることから、大会開催前までに工事を完了していただくよう、改めて要請をしたところである。



柳瀬川沿いの遊歩道
(富士見橋から志木大橋の間)

その他の質問項目

- デマンド型タクシーについて
- 教育環境の整備について
- 緊急時連絡システムの条件緩和について
- 市営住宅の増設について



有賀 千歳
市政研究会
未来

子どもが主体的に参加する
学校教育の推進について

●有賀千歳議員

今年の4月から障害者差別解消法が施行される。障がいの有無にかかわらず、子どもたちが一緒に育ち合うためには、どのような発達段階に即した教育が必要か、子どもたち個々の特性を見つめ、教育を見直す必要がある。

特に小・中学校では特別支援教育をどのように進めていく方針なのか。また、特別支援学級などの交流はどのように行われているか伺う。

◎教育長

本市では、一人ひとりを大切にしながら教育を推進しており、各学校が創意工夫を凝らして、人権教育を推進している。

道徳の時間などで、いじめは人間として絶対に許されないことや障がいのある方の立場に立った思いやりの気持ちなどについて学習し、認識を深めている。また、特別支援学級設置校においては、通常学級と特別支援学級の児童・生徒が授業や給食の時間などでお互いに交流する時間を設けている。今後も、いじめや差別は絶対に許さ

ないという理念のもと、教育活動を進めていく。また、教育委員会としては、児童・生徒の一人ひとりが人権意識を醸成し、他者を尊重する態度を養うことができるよう、各学校の人権教育を支援していく。



その他の質問項目

- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの常駐配置について
- スポーツの振興について
- 夏休みの短縮について
- 保育所入所について
- まちバルについて
- 志木市一般廃棄物処理基本計画について
- 空き家対策の進捗状況について



池ノ内秀夫
市政研究会
未来

歩道上を走る自転車と歩行者との衝突事故対策とその取り組みについて

●池ノ内秀夫議員

平成27年6月1日から、改正道路交通法が施行されている。自転車は原則として車道の左側を走らなければならないが、道路標識で指定されていない歩道を例外的に走つてよい年齢は13歳未満か70歳以上となっているが、現実はそのような初歩的なルールさえ十分に守られていないのが実態である。

ルール違反者に対する安全教育など、マナー向上に対する取り組みは本市ではどのようにしているのか。改正道路交通法のしおりや手引きなどを小・中学校の児童・生徒を通じ保護者の方々に配付するなどの安全対策が必要ではないか。子どもたちを通じて保護者に配付するということは非常に効果的だと考えるが、いかがか。

◎市民生活部長

本市では、朝霞警察署や交通関係団体や教育委員会と連携し、啓発活動を実施している。

小学生を対象に交通安全教室や自転車安全教室を開催し、高齢者向けには、福祉センターなどにおいて高齢者の交

通事故の例を中心とした交通安全についての講話や啓発を行っている。また、今年度からは、主に高校生を対象とした自転車マナーの啓発活動も実施している。

今後も、広報しきなどを活用しての周知・啓発に加え、朝霞警察署や交通関係団体、教育委員会と連携、協力し、継続的に啓発活動を行っていく。

なお、議員より提案のあった、児童・生徒の保護者に対しても交通ルールの遵守やマナーの向上はもとより道路交通法の改正や自転車保険への加入の必要性など、学校の手紙とあわせてパンフレットなどを配付することにより周知を図っていく。



自転車も交通ルールを守って、安全運転を



天田いづみ
リベラル市民21

◎天田いづみ議員

館保育園を今後どのようにしていくのか、先日、地域住民との意見交換会を実施したと伺った。

今後の保育園のあり方を検討していく際には、将来的な保育のニーズを把握するのはもちろんのこと、施設の老朽化などの課題をどのように解決していくのか検討する必要がある。

その上で、今後どうしていくのかかというのは、早急に考えていかなければならないと考える。館保育園を含めた公立の保育園の今後のあり方については、どのように考えているか伺う。

◎健康福祉部長

市では現在、志木市子ども・子育て支援事業計画に基づき、計画的に保育園などの整備に努めている。また、公の施設の管理方針において、保育園は引き続き民間の認可保育園を設置するなど、適正な定員を確保し、公立保育園は現状を踏まえ、多様化するニーズに対応するため、継続的に運営形態を検討するものとしており、今後においても、民間の活力を活用しつつ、公立

保育園について

保育園の役割を果たしていきたいと考えている。

館保育園は、建物の老朽化が進み、現時点では平成30年度までの保育の受け入れとしているところである。公立保育園のあり方については、将来的な待機児童数の推移を踏まえ、保育のあり方と公共施設マネジメントの考え方の両面から総合的に判断をしていかなければならないものと認識している。



館保育園

その他の質問項目

●地域包括ケアシステムの構築について

●だれもがよいところを伸ばせる子どもたちへの支援について

●学校教育について



鈴木 潔
しきの会・平成

◎鈴木潔議員

昨年11月に幸町で発生した強盗事件に際して、教育委員会から保護者あてにメールが送信されたが、メールの内容や文面についても要領を得ないものであった。このメールはどのような経緯で送られたものなのか。また、市長部局はどのような対応を取り、今後どのようにしていくのか伺う。

◎教育長

今回のケースについては、児童・生徒に危険性を伴う案件であることから、安全を第一と考えたため、情報の内容に不足や未確認の部分が生じ、情報が錯綜したものと考えている。現在、教育委員会においては、危機発生時や危機情報が入った場合の情報発信にかかわるマニュアルを作成中であるので、今後市とも連携し、適切に対応していきたいと考えている。

◎市民生活部長

生活安全課では、秘書広報課と教育委員会に強盗事件の現状を伝え、防災行政無線の準備をしていたところ、午後5時20分に朝霞警察署より情報提供

防犯情報について

があり、午後5時30分に防災行政無線により市民へ向けて注意喚起の放送を行った。

今後においては、市内部の情報の共有や体制を改めて確認するとともに、現在、朝霞警察署及び朝霞警察署管内の朝霞市、和光市、志木市の3市で協議を重ねている、警察からの防犯情報や注意喚起を共有することを目的とした犯罪情報の住民提供などに関する協定の締結に向けて進めていく。警察や近隣市との連携を図り、迅速で正確な情報提供をすることで市民生活の安全・安心につなげていく。



警察などとの連携により、迅速で正確な情報提供をします

その他の質問項目

●平成28年度予算について



伊地知伸久
しきの会・平成

◎伊地知伸久議員

現在、起債が増えている要因と、今後の財政運営について聞く。また、市庁舎を建て替える場合、どの程度まで起債できると考えているのか。

志木市は面積が狭く、空き地も少ないが、相続などで土地の売り買いなどが発生したときなどを捉えて緑や公園を増やしていただきたいと考えるが、いかがか。

ほとんどの家庭では、しつけや基本的な生活習慣を身につけさせているが、問題を抱える家庭では十分にできていないのが現状であり、スクールソーシャルワーカーなどの専門家を充実していただきたいと考えるが、いかがか。

◎市長

平成28年度の市債残高見込み額は、約157億円と過去最高額であるが、臨時財政対策債の残高がそのうちの3分の2となる約100億円を占めていることが要因である。庁舎建設における市債額については、事業の方針が確定次第、何らかの形で議会にも示すこ

今後のまちづくりについて

とができるよう準備をしていきたい。

緑地を増やすことについては、計画的な公園改修や民地に残る斜面緑地の保全を図りながら、まずは現在借り上げている公園などで例えば相続などが発生した場合には、公有地化を図れるよう地権者の意向も確認していきたい。

◎教育長

学校だけでは解決できない家庭問題に起因する教育相談が年々増加しているため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの増員を図り、学校との緊密な連携を図りながら、教師の負担軽減と児童・生徒の支援をしていく。



河川や緑地が保全された水と緑豊かなまちづくりをめざして



内山 純夫
しきの会・平成

◎内山純夫議員

志木市将来ビジョンには、4つの柱があるかと思うが、この戦略について、展開方法はどのようなのか。個別に進めていくのか、それとも並行して行っていくのか。

そして成果指標について、どのような指標を立てていくか。現状があつて、そして成果をいつまでにこのような感じにしようではないかという話を市長に伺う。

◎市長

市民の健康づくりプロジェクトは、健康寿命の延伸を成果目標として掲げ、埼玉県における健康寿命の順位を、男女ともに1位になることを目標としている。

子育て世代定住プロジェクトは、生産年齢人口の増加を成果指標として掲げ、平成26年度の4万7,178人を上回ることを目標としている。

暮らしやすさ向上プロジェクトは、定住意向の向上を成果目標として掲げ、市民意識調査における定住希望の回答率80パーセントを目標としている。

志木市将来ビジョンについて

魅力発信プロジェクトは、志木駅と柳瀬川駅の1日平均定期外乗降客数を成果目標として掲げ、平成26年度の現状値4万1,935人を上回ることを目標としている。

それぞれのプロジェクトを意識しながら、並行して進めることで、志木市に住み続けたい、住んでみたいと思えるまちをめざしていきたい。



志木市将来ビジョンは、志木市がめざすまちづくりの重要な指針となるものです

その他の質問項目

- 市民の健康づくりプロジェクトについて
- 子育て世代定住プロジェクトについて
- 暮らしやすさ向上プロジェクトについて
- 魅力発信プロジェクトについて



高浦 康彦
日本共産党

●高浦康彦議員

新総合事業では、要支援者の訪問介護、通所介護を保険給付から外し、市町村が実施している地域支援事業に移すこととなっている。新総合事業で要介護認定を受けさせない、水際作戦が行われることを懸念している。今までは、介護の必要性の訴えがあつた場合、まず介護認定を行うというのが通常の手続きとなっている。

従来受けていた支援サービスから、単価の低いサービスへの転換や終了といった行政サービスを受けられなくなると懸念するところである。本人が希望するサービスは受けられること、これがきちんと保障されるような運用が大切ではないかと考えるが、いかがか。

◎健康福祉部長

新総合事業は、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者などに効果的かつ効率的な支援をめざすものである。

新総合事業開始時に要支援の認定を受けている方については、認定有効期間までは従来どおりの介護予防サービス

介護保険制度について

スを利用いただき、介護認定更新時にケアプランを見直しつつ、順次移行していく予定である。

なお、要介護認定の基準について変更はないが、市窓口などでの相談の際に、必ずしも要介護認定を受けなくても、基本チェックリストによって本人の状況に合ったサービスの利用が可能となる。サービス利用者やその家族の個々の状況に応じて必要なサービスが提供できるよう、体制づくりに努めていく。



その他の質問項目

●情報公開の透明性について

●葬祭場建設に係る行政指導について

●教育政策について

●上下水道料金の引き下げについて



水谷 利美
日本共産党

●水谷利美議員

昨年の12月議会において、原発デモのピラを図書館に置かせてもらえないということでも一般質問を行った。館長がピラを置く、置かないという判断が曖昧では混乱を来すことが考えられる。ピラなどの配置についての基準を作成していくということだが、その基準の内容と現在どの段階まで進んでいるのか伺う。

◎教育長

チラシなどの取り扱いについては、考え方や判断基準の有無などの調査を行い、対応方法について、教育委員会内部の関係課で検討を進めてきた。

現在、基準案ができたところであり、基本の考え方、配置の基準、優先順位、配置の期間、手続きなどを定めようとしている。現在、公共施設におけるピラなどの取り扱いの統一した基準を作成するために、市長部局とも協議を進めている。

◎市長

公の施設については、施設からのお知らせや、市や教育委員会が発行する

ピラの配置について

情報が優先的に配置すべきものであり、スペースがあいている場合には、優先順位を見きわめ、有用な情報については可能な限り配置すべきものと考えている。

配置基準については、整備されている施設もあれば、館長の裁量で判断している施設もあることから、現在、全ての基準の見直しとあわせ、統一的な基準づくりについて、教育委員会をはじめ、庁内で協議を進めている。できるだけ速やかに配置基準を作成していく。



柳瀬川図書館の館内の様子

その他の質問項目

●いろは遊学館の管理について

●公立図書館の管理について

●子ども医療費助成制度について

●館保育園について

●介護保険料について

●国民健康保険税について



永井 誠
市政研究会
未来

◎永井誠議員

本市の行政面積は9.05平方キロメートルと、全国でも6番目に小さい市である。

志木に住んで生活をしたいためには、職員の人材教育が重要であると考え、市の職員がしっかりとした考え方を持っていて行政展開をしていくことが大切であると思うが、狭い市域の中でどのように人材を育てるのか伺う。

◎市長

時代の変化を的確にとらえ、市民とともに汗をかきながら、みずからの職員力を高める職員の育成、人材育成は、本市においても大変大きなテーマであると考えている。

そうした中、平成27年3月に志木市人材育成基本方針を策定し、市民とともに汗をかき、みずから磨き続ける努力を惜しまない職員を求められる職員像として定義をし、職員の育成に取り組んでいるところである。例えば、地区まちづくり会議では、市民と職員がお互いの知恵や経験を生かし、地域課

市民自治について

題の解決に向けたまちづくり活動が実践されているところである。若手職員の育成はもとより、管理職にあつては実践を通したリーダーシップを発揮し、大きく成長したのではないかと感じている。

職員の資質向上と自己の成長を促すことが、より質の高い行政サービスを提供し、それが志木市に住み続けたい、住んでみたいと思われるまちにつながるものと認識している。一人ひとりの職員が「チーム志木」の一員という意識の醸成を図り、市民の皆様から、小さいまちだけれどもとても親切丁寧ですばらしい職員がいると言っていただけけるよう、職員の育成に努めていきたいと考えている。



地域の皆さんと地区担当職員が一緒になって、まちづくりに取り組んでいます



磯野 晶子
公明党

◎磯野晶子議員

地区まちづくり会議は、平成26年7月1日から本年6月30日までの2年間で第1期委員の任期とし、住民委員と担当職員とが対等の立場で地区の課題を解決に結びつけるため熱い議論を交わし、ともに汗をかき、積極的に市民力を生かし、夢のあるまちづくり活動を実践していると聞いている。

そこで、第1期地区まちづくり会議の活動状況と任期満了までの流れ、第2期委員の募集及びその後の進行スケジュールについて伺う。

◎市民生活部長

第1期の1年目は、委員相互のコミュニケーションを深め、地区の課題を解決するため熱い議論を交わしていただいた。2年目は、議論を実行に移す年となり、既に5地区で事業が実施され、残る2地区も3月中に実施される。その内容は、イベントの開催や、マップや情報誌の発行など、どれも地区の状況や特性が十分に生かされたものである。任期満了となる本年6月には、これまでの活動報告とまちづくり

地区まちづくり会議について

の提言をいただくこととなっている。また、第2期については、既に地区担当職員が選出されており、4月に辞令交付を行う。また、5月から住民委員の募集を行い、7月には、新たな地区まちづくり会議がスタートする。



地区まちづくり会議では、地区ごとに事業を実施しています
(幸町しあわせフェスタの様子)

その他の質問項目

- 婚姻届のサービスについて
- HUG（避難所運営ゲーム）の取り組みについて
- 妊娠期から子育て期にわたる支援の取り組みについて
- ガン対策について
- 芸術鑑賞について



小山 幹雄

しきの会・平成

◎小山幹雄議員

2月に柏町で2軒の火災があった。しかし、サイレン吹鳴が聞こえなかったところがある。以前に一般質問を行った際は、メールの配信などにより市民に火災の情報は発信していると聞いた。しかし、お年寄りなどは携帯電話を持っていない方が結構多いため、サイレンがわからなくて火事がどこで発生したかわからない。もし隣の家が火災で、火が移ってしまい、巻き添えに遭う事態も想定できる。

人の命を守るという点では、サイレン吹鳴塔があつてこそだと考えるが、サイレン吹鳴塔をつけていただけののか伺う。

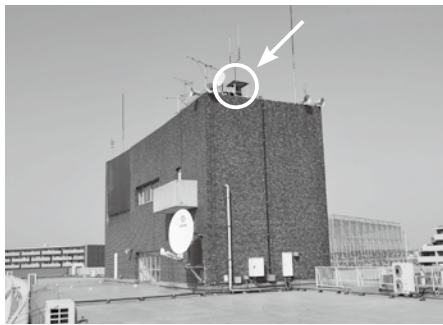
◎市民生活部長

サイレン吹鳴塔は現在、市内に6か所設置している。消防サイレンは火災発生時に多くの消防団員をより早く召集するため吹鳴するもので、突然吹鳴する消防サイレンは住民に恐怖心や不快感を与えるだけでなく、生活スタイルが多様化している現代においては、廃止してほしいとの苦情が寄せられる

防災について

こともある。

市民の皆さんが火災の情報を得る手段としては、火災の情報がメール配信される市のモバイルサイトへの登録や、消防本部の「災害・病院案内」への電話により、火災の情報を確実に得ることができるので、広報紙やホームページなどを活用し、積極的にPRを図っていく。



市役所屋上のサイレン吹鳴塔

その他の質問項目

●防犯について

●交通対策について

議会からのお知らせ

平成28年第2回定例会の会期日程(案)

議長交際費 平成28年1月～3月

月	日	会議の内容	支出日	件名	支出額
6月1日(水)		開会	1月8日	朝霞駐屯地賀詞交歓会	3,000円
6月2日(木)		議案調査日	1月8日	朝霞青年会議所新春賀詞交歓会	5,000円
6月3日(金)		議案調査日	1月15日	志木市民生委員・児童委員協議会新年会	5,000円
6月6日(月)		総括質疑	1月17日	志子連新年会	4,000円
6月7日(火)		議案調査日	1月18日	彩愛クラブ志木新年交礼会	5,000円
6月8日(水)		議案調査日	1月20日	志木市連合婦人会新年会	5,000円
6月9日(木)		常任委員会	1月20日	志木市農業委員会新年会	10,000円
6月10日(金)		常任委員会	1月21日	志木市母子保健推進員連絡協議会新年会	5,000円
6月13日(月)		議案調査日	1月22日	志木市商工会新年賀詞交歓会	4,000円
6月14日(火)		議案調査日	1月24日	志木市社会福祉協議会新年懇親会	2,000円
6月15日(水)		一般質問	1月25日	志木市くらしの会新年会	2,500円
6月16日(木)		一般質問	1月28日	朝霞法人会新春賀詞交歓会	5,000円
6月17日(金)		一般質問	2月1日	志木川信会新年会	5,000円
6月20日(月)		議案調査日	2月5日	志木市町内会連合会新年懇親会	5,000円
6月21日(火)		議案調査日	2月6日	志木市体育協会新年賀詞交歓会	5,000円
6月22日(水)		閉会	2月9日	志木市商工会女性部新年懇親会	4,000円
			2月11日	小林民舞会新年会	7,000円
			2月14日	光良会新年会	5,000円
			2月16日	志木料理飲食店組合・志木市食品環境衛生協会合同の新年会	5,000円

※日程は予定であり、変更になることがあります。

※開議は午前10時からです。

※3月分の交際費の支出はありませんでした。

おめでとうございます

埼玉県市議会議長会表彰



河野 芳徳 議員
(議長職2年)



永井 誠 議員
(議員職40年)



議会運営委員会で
行政視察を行いました

視察日／平成28年1月14日(木)
視察場所／京都府亀岡市議会

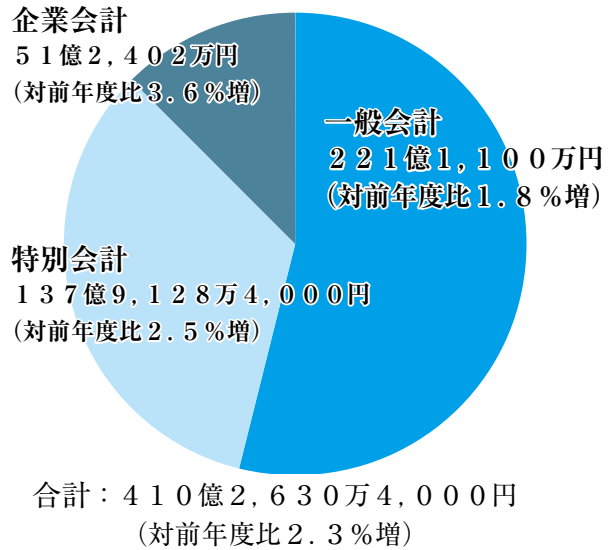
- ・ 亀岡市議会基本条例について
- ・ 議会報告会、わがまちトークについて

A 現年分の滞納を翌年に繰り越さないことが重要であるため、口座振替やクレジット納付の勧奨により納期内納付を促

Q 市税などの滞納対策について、具体的な手だてについては、どのように考えているのか。

総務常任委員会

各常任委員会での審査の一部を紹介します



Q 新たな事業のおっぱいケア訪問事業、ネオパパ講座はどのように実施するのか。

市民福祉常任委員会

進させるとともに、収納コールセンターによる電話催告に加え、色使いなどを工夫した催告書を送付し自主納付を促進させている。

A おっぱいケア訪問事業は、産後60日以内の産婦と乳児を対象にして、家庭訪問によるおっぱいのケアや授乳に関する相談、実技指導などを主に行う。

ネオパパ講座は、子育て経験のある男性や赤ちゃんと交流を通して、育児の楽しさ、赤ちゃんの特性、おむつの交換の仕方など、

A 現在、実施している志木第四小学校、宗岡小学校と内容は同じであるが、今年度は4校で、3年生と4年生を対象に実施する。時間は、2時間で、国語と算数の2教科を教える。講師は、退職した教員をメインにしている。

Q 放課後子ども教室について、新たに志木小学校と宗岡第二小学校で開設することだが、どのような内容か。

文教都市常任委員会

新しく父親になるお父さんに対して、学んでもらおうという事業である。

